



9月 いるかぐみ クラスだより



発行：令和5年・9月15日 担当：佐喜真 吉乃

朝・夕と風が心地よく感じます。まだまだ日中は日差しも強いですが、こどもたちは、この時期にしかできない遊び(泥んこ遊び・色水遊び)をおもいきり楽しんでます。お部屋では、お招き会の出し物の練習や、ニコニコ会の話しあいをたのしみながら取り組んでいます。遊ぶ時は思いっきり遊び、集中する時は真剣にとりくむとメリハリができてきたようにも感じます。

取り組みや話し合いの中では、意見のぶつかり合いでトラブルになることもありますが、自分たちでピーステーブルに移動し自分の想いを言葉で伝えあったり、お友達が仲裁に入り折り合いを付けたりと心の成長を感じます。今月のクラスだよりでは、いるか組さんの取り組みの様子をもりだくさんご紹介したいと思います。

体験からの学びがたくさん

9月15日(金)曜日に、いるかぐみさんのお招き会があります。コロナ感染症の状況もあり、開催が中止されて、なんと4年ぶりの開催となりました。「おじいちゃん・おばあちゃんを招待してどんなことしたい?」との声かけに「自分たちのカッコいいところみせたい!」「和太鼓・エイサーは?」「赤ずきんの劇を発表したい」とやってみたくが盛りだくさん。その中で、Aさんが「7月に県立博物館いったでしょ?カスタンネットみたいな昔の人たちの楽器やってみたく」「ほら、カチカチするの」保育教諭が「もしかして四つ竹のこと?」「そう!それ!ゆうわにもあるって先生がいったよ」との会話から、四つ竹を出すと、みんなは興味津々。「先生四つ竹の踊りをおじいちゃんおばあちゃんに見せたい!」となり、お招き会にむけ、取り組みをしました。20分くらいの体験コーナーでの体験が、こんなにも鮮明に残り、子ども達の“やってみたく”という気持ち(意欲)が大きく育つことを実感した場面でした。

また方言での手遊びや、発表でも、最初は言葉の意味もわからず「やーるー(やもり)ってキノボリトカゲ?」「先生難しい。」といていましたが、今では少しずつ覚えた方言を使う姿がみられてきました。

食事の際、皆で食事の挨拶をする際にMさんが「ねえ。今日はみんなでくわっちーさびらっていってみよう」とみんなでご挨拶。子ども達からも、おじいちゃん、おばあちゃんがつかっている方言を知って、自分たちが使う(話す)ことで大切にしていきたいという声もでて、“お招き会”を通して心の育ち、また私たちの住む沖縄の文化にふれることができた経験をする事ができたこと嬉しく思います

この体験から、四つ竹に挑戦したいという、気持ちがふくらみました。

重箱の食材一つ一つにも意味があるとしました。こどもたちからも「シーミーで食べた」と話をしていました



進化展見学・美術館で本物を間近で見るとすごく面白い!



みなさんご存じですか?黒電話!!こどもたちもこれ何?電話だと知ると、びっくりしていました



絞り染め～世界に一つのオリジナルハンカチ

お招き会の、プレゼント作りで、ハンカチをプレゼントしようと、絞り染めに挑戦しました。

保育教諭と一緒にパソコンで染め方を調べ、ビー玉や、割り箸を使用してゴムで絞る作業を黙々ととりこんでいました。

「ねえ、先生どんな模様ができるの？」との質問に。実は先生も染めてゴムをとってみないとわかんないんだ。との声に先生も子ども達もドキドキ。。。お鍋でぐつぐつ煮込んで、、、ゴムをはずすと・・・「わあ！！花火みたい」と一人一人全部違う柄模様にとっとり。おじいちゃん、おばあちゃんも喜んでくれると思います



園外プール最高！

こどもたち一人一人の、はじける笑顔が、本当にうれしいです



城間先生
水泳教室



みんな、プカプカ
気持ちいいよ



子ども達の待ちに待っていたお楽しみ。園外プール。園内でのプール活動の最後に嘉手納町にある兼久海浜降園ウォーターガーデンにお出かけしました。

朝から浮き輪をもってドキドキ・わくわく。

園外プールでの約束をしっかりと守りお友達とプール遊び楽しんでいました。見守りにきていた城間先生（貝殻蝶々作りを指導してくれました。実は泳ぎの指導のスペシャリスト）から、泳ぎ方を教わり、たっぷり泳いでいたこどもたちです。

帰りは、皆ぐっすりと眠っていました。子ども達と、安全にたのしくすごすことができ素敵な思い出ができました。

※当日は保護者の見守りボランティアの参加もあり、とても助かりました。



手をピンと伸ばして！
城間先生が教えてくれる
とみんな上手におよげると
うになってました

